

# 産廃茨城だより

〒310-0851 社団法人茨城県産業廃棄物協会  
水戸市笠原町978番25 茨城県開発公社ビル4階  
TEL 029-301-7100 / FAX 029-301-7103

## 新春賀詞交歓会が盛大に開催される

平成20年1月28日(月)、ホテルレイクビュー水戸において、当協会の平成20年賀詞交歓会が開催されました。新年を迎え、会員の意識を高め、新たな年へ希望を託しての出発にあたり、協会会員、来賓、関係団体の方々等々約170名が集い、新春を祝いました。



はじめに当協会上桙会長から「本日は橋本知事をはじめ、馬場生活環境部長、市毛廃棄物対策課長並びに関係業界の各方面より、多数ご出席をいただき御礼を申し上げます。我々業界は取り組まなければならないコンプライアンス、リスクアセスメント並びに地球温暖化問題等、様々な課題がある。皆様の協力をいただきながら講習会等の事業を実施していきたい。」とあいさつがあり、続いて橋本昌茨城県知事から「本日は新春賀詞交歓会が盛大に開催されることを心からお喜びしたい。また昨年は有害廃棄物撤去基金にご協力いただき、感謝申し上げます。」との祝辞を頂戴した。

さらに橋本知事より、有害廃棄物撤去基金寄

付者に対する感謝状贈呈式が行われ、上桙会長及び各支部長が寄付者を代表して贈呈された。

その後は安田副会長の発声により乾杯。終始和やかに懇談がかわされ、盛会のうちに閉会した。



橋本知事から感謝状の贈呈

## 社団法人茨城県産業廃棄物協会

会長 上埜秀明あいさつ



皆様新年明けましておめでとうございます。

本日は、公務ご多忙の折、橋本知事をはじめ、馬場生活環境部長、市毛廃棄物対策課長並びに関係業界の皆様方、そして協会会員の皆様、多数ご出席を賜わり厚く御礼を申し上げます。

私ども産業廃棄物協会も設立後28年を迎えまして、これまで沢山の先輩方にこの協会を支えて頂きました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。そして今後もこの協会が皆様のご支援をいただき、ますます発展することを期待しております。

また、次世代を担う若手後継者を育てる意味で、昨年は青年部を立ち上げまして、他県との情報交流を深めてまいりましたが、今後とも若手経営者の育成の場として積極的にこの事業を進めて行きたいと思っております。

昨年は「偽」という言葉が選ばれましたが、この「偽」は皆様方ご承知のとおりいろいろな意味での「偽」がありました。食品偽装問題等をみますと数ヶ月でまた再開しまして、テレビを見ておりますと、ある有名な食品会社は、皆様にテレビで宣伝をして頂きありがとうございますというお話をしておりましたが、我々業界はそういうわけには行きません。災いがもし簡単なことであっても欠格要件に該当いたし

ますと、5年間は業務停止をくらいます。そして5年間停止をくろうという事は、もう全て廃業に追い込まれることと同じことですので、皆様方はコンプライアンスを十分に注意して、またこの1年しっかりとやって頂きたいと思っております。

そしてまた、リスクアセスメントの案件でありますと、昨年の11月から今年にかけて当協会の会員の中で重大災害が起こっております。そしてまた、賛助会員のところでも重大災害が起こっておりまして、非常に沢山の尊い命がなくなっておりますので、今年はこのリスクアセスメントを含めて「安全」について、もっと勉強会を進めて行きたいと思えます。

死傷災害度数率というのは労働災害による死傷者数に100万時間をかけてそれを延労働時間数で割りいくつになるかというのが災害の統計の目安となっておりますが、それでいきますと全国の産業は約1.9くらいの度数率になりますが、この産業廃棄物処理業界は大体13.9と非常に高く、約8倍の災害が起こっております。これはやはり皆さん方の意識を変えていかなければいけないこと、それから協会としてもこの災害についての勉強会を強力に進めていかなければいけないと思っております。

また、産業廃棄物処理業界は、産業廃棄物活動に伴い発生する、廃棄物の適正処理を推進することによって、循環型社会の形成推進に貢献してまいりましたが、地球温暖化問題として地球環境問題が年々深刻化しており、廃棄物処理分野においても地球温暖化防止対策を視野に入れた取り組みが進められ、全国産業廃棄物連

合会は、昨年11月、2010年度における温室効果ガス排出量を2000年度比プラスマイナスゼロに抑制することを目標に掲げる自主行動計画を策定いたしました。

2005年の日本全体の温室効果ガス排出量は13億6000万tで、このうち廃棄物関係は約4800万tで全体の3.5%を占めております。地球温暖化防止という点では、3.5%という非常に大きな数字でありますので、これを何とか抑制して、地球温暖化問題に積極的に対処してまいりたいと思っております。

また、有害廃棄物撤去基金につきましては、皆さん方大変なご努力によりまして、非常に多くのお金を集めることが出来、県に撤去基金として提供することができました。今日は橋本知事がお見えになっておりますが、後ほど知事から感謝状をいただけるというお話ですので、これをもって皆さん方に感謝を申し上げたいと思っております。

さらに、電子マニフェストなど、全国産業廃棄物連合会として進めていこうということでやっておりますが、最近電子マニフェストを結構やる方が増えてまして、我々のところでも今後電子マニフェストを使って、取引をしたいという方が増えております。長い目でみますと、電子マニフェスト化が進むと思いますので、是非とも今のうちから皆さん方はそれに馴染み親しんで今後の活動に使っていただきたいと思っております。

最後になりますが、今日お集まりの皆さん方の今後ますますのご繁栄と茨城県産業廃棄物協会の発展を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございます。

## 茨城県

### 橋本昌知事あいさつ



皆さん明けましておめでとうございます。

産業廃棄物協会の新春賀詞交歓会が大変盛大に開催されますこと心からお喜び申し上げます。そして上埜会長はじめ、皆様方には日頃から県政発展のために何かとご尽力を賜わっておりますことについて御礼申し上げます。

先程も会長からお話がありましたが、特に昨年有害廃棄物の撤去基金ということで、皆さん方に大変なご協力を賜りました。後ほど感謝状を贈らせていただきたいと思います。このお陰をもちまして硫酸ピッチの撤去も順調に進んでいるところでございます。今後ともいろいろな面でご協力のほどをお願い申し上げます。

先程いろいろなお話があったところでありますが、私どもこれからの茨城あるいは日本というものを考えた場合に、どうやって元気な茨城を作っていくかということと、あと持続可能な社会にどうやってしていくかということが大変大事ではないかと思っております。

景気の方につきましては、昨年後半から急激に停滞気味でございますが、私ども茨城としては優良企業が操業を開始し、あるいはまた、つくばエクスプレス沿線の街づくりの進展等々進んでいるところでありまして、今年も例えば

道路でいいますと北関東自動車道が桜川筑西インターまで4月12日に開業予定であります。あと14キロで常磐道と東北道がつながるような状況にもなっておりますし、来年度は圏央道も江戸崎インターまで延びて、つくばと成田が50分くらいで結ばれるような状況も出てまいります。いろいろと環境整備をしながら元気な県を作っていきたいと思っております。

また、11月には国民文化祭ということで100万人の方々の参加を見込んでおりますし、12月にはアメリカと東海村にしかないJ-PPARCという加速器ですけれども、この加速器がいろいろな新しい産業を生み出すのではないかとされておりまして、これが操業開始いたします。こういう様々なものを活用しながら少しでも元気のいい県にしていきたいと思っております。

持続可能な社会という意味では今年は洞爺湖サミットが開催されるわけでありまして、大変世界の目が環境問題に今熱く注がれているところでございます。日本がどうやってリーダーシップをとっていくかということと、併せてそれぞれの地域においてどうやって少しでも環境に役に立っていけるかということが大変大事になってくるのではないかと思っております。幸い前の県議会におきまして、森林湖沼環境税というものについても4月から願います。私もこの税を使いまして、間伐を徹底してやっていきたいということをひとつ考えております。なかなか採算が合わないために間伐が放棄されている森林というものが沢山ございますのでこういったところについて積極的に頑張って進めていきたい、また一方では霞ヶ浦の水質の悪化ということがますますひどくなってきておりますので、これにつきましても例えば単独処理浄化槽については全部撤去すると

かあるいはまた合併処理浄化槽についても大幅に受益者負担あるいはまた市町村負担というものを減らす方向でその費用を使ってまいりたいと思っております。また一方では皆さん方に大変お世話になっております「リサイクル」資源をどうやって無駄にしないで、徹底して有効活用するかということも大変重要な課題になってまいります。リサイクルの優良事業所認定制度等につきましては協会に大変お世話になっておるところではございますけれども、リサイクル商品の認定を含めて、また一般再生紙についてはいろいろと問題があったところではございますけれども、そういった形ではなくて、本当にリサイクルということについてしっかり取り組んでいただければ有難いなと思っております。

また一方では産業廃棄物の処理の適正化ということについて条例を制定させていただきましたが、不法投棄をどうやって防ぐかということが大変大きな課題でございまして、ボランティアによる監視員制度の皆様方についても大変ご協力をいただいているところでございますけれども、そういったものをさらに進めるとともに市町村と一体となって、さらに徹底して不法投棄をなくすような努力をしてまいりたいと思っております。

本日はまた先程、上埜会長からお話がございましたように、労働災害の問題その他多々努力すべき課題があると存じますけれども、今年も会長さんを中心に団結を強めてどうやってこの業界をしっかりと発展させていくかということのために、ご尽力をいただければありがたいと思っております。

茨城県産業廃棄物協会のご発展、そして皆様方の事業のご繁栄、そしてさらには皆様方が大いに元気で活躍いただくことをご祈念申し上げまして、あいさつとさせていただきます。本日はどうもおめでとうございます。



## 青年部 施設見学会・賀詞交歓会が盛大に開催される

平成20年1月23日（水）、雨が降り、雪の予報もでるほどの冷え込みでしたが、青年部会員22名が当協会賛助会員の日立建機株式会社土浦工場内の研修室に集合し、第1回目となる施設見学会を実施いたしました。



当日は沼田部会長のあいさつから始まり、日立建機(株)環境システム事業部の細野事業部長よりご挨拶を頂いた後、栗山氏から見学する機械の能力・工程等の概要説明を受けました。

その後、バスでかすみがうら市にある機械のデモサイトへ移動。自走式クラッシャ・スクリーン・土質改良機・せん断シュレッダ・木材破碎機などの実機稼動見学を行い、建設現場での

処理機の組み合わせにより効率的な現場内分別が可能であるなど、さまざまな提案を受けました。見学後は土浦工場に戻り実際の工事現場でどの様な使われ方をしているか、また不法投棄廃棄物処理システムや環境への取り組み、カンボジアでの地雷撤去活動など映像を通し拝見させていただきました。



沼田部会長からの挨拶



細野事業部長のご挨拶



実機稼動見学会の様子



賀詞交歓会会場で

見学会終了後は、見学会に参加できなかった部員も合流し、これまた日立建機株式会社様のご好意により、福利厚生棟である建友クラブをお借りして青年部賀詞交歓会が盛大に行なわれました。

最後になりましたが、ご多忙の中、見学会の段取りから施設の案内、賀詞交歓会に至るまで全面的にご協力を頂きました日立建機株式会社様に誌上をお借りして厚くお礼を申し上げます。

## 青年部会員募集！！

(社)全国産業廃棄物連合会では、次世代を担う若きリーダーの育成、産業廃棄物処理業界の資質向上と社会的地位の確立を図るため、平成7年より全国の青年部会議の開催を目途に各都道府県協会内に青年部会の設立を推進し、現在既に44の協会、約1700名が活発に活動しております。当協会においてもこの趣旨に賛同し、昨年3月に青年部設立をいたしました。部会員の資格は45歳以下で当協会会員事業所(賛助会員を含む)の後継者又は幹部職員が対象となっております。

現在63名の部員が参加しており、設立以来県の担当官を招いての法改正等勉強会や施設見学会並びに会員相互の親睦事業を実施し、活発に活動しております。

本年6月には茨城の地で関東ブロックの青年部会員が集まり、総会及び大懇親会を行う予定であり、より多くの部員を募集し、県内は勿論、県外産廃業者との交流を図っていただきたいと考えております。

加入希望の方がおりましたら青年部事務局までご連絡下さいますようお願い致します。

連絡先

社団法人茨城県産業廃棄物協会内 青年部事務局 担当 友部

TEL 029-301-7100

E-mail [tomobe@ibaraki-sanpaikyo.or.jp](mailto:tomobe@ibaraki-sanpaikyo.or.jp)

## 協会からのお知らせ

### 1) 協会会員に対する県外産業廃棄物県内搬入協議日の新設について

茨城県廃棄物の処理の適正化に関する条例第7条に基づく事前協議については、県廃棄物対策課において、毎週水曜日を相談日として設定し事前協議を実施しているところですが、相談者が多いことから、相談の予約が1, 2ヶ月先になっている状況にあります。

このため、協会から強く要望したところ、平成20年1月から新たに、協会会員枠として第4金曜日を事前協議日として廃棄物対策課で設定してくれることとなり、すでに各協会会員に対し文書で通知したところです。

第4金曜日の事前協議の日程の予約は、県協会ですぐ実施しております。

なお、2月の第4金曜日(22日)については、既に協会会員の方から協議の予約が入ってきておりますが、以下の点に留意し予約をお願いいたします。

(留意点)

- 県廃棄物対策課事前協議日は以下のとおりです。
  - ・ 県廃棄物対策課協議日(一般枠) 毎週水曜日
  - ・ 同 (協会会員枠) 毎月第4金曜日
- 当然、一般枠の中で協会会員の方は協議できます。(予約も従来どおり県廃棄物対策課になります。)
- 協会会員枠の予約のみ、協会ですぐ受け付けています。
- 協会会員枠に予約するときには、①連絡者名 ②電話番号 ③排出企業名 ④処分事業者名(搬入先) ⑤搬入する産業廃棄物品目をお知らせください。
- 一般枠と協会会員枠と二重に予約しないように注意してください。

### 2) 協会ホームページをご活用ください

昨年4月に当協会のホームページを開設いたしました。新着情報や協会行事の案内、メールによる相談窓口などを設けてあります。スピーディーな情報発信を心がけて参りたいと思いますので是非ご活用ください。

なお、会員名簿を掲載しておりますので、内容に変更が生じた場合には速やかに届出いただけますようお願い申し上げます。

<http://www.ibaraki-sanpaikyo.or.jp>

### 3) 新規会員事業所の紹介について

平成18年12月から本年1月末現在、次の方が正会員として入会されました。詳細については別添『新規会員等の紹介』及び協会ホームページに掲載されております。

なお、協会ホームページからは最新の会員名簿が印刷可能となっておりますので、必要な方はご利用下さい。

**【正会員】**

- ・ 株式会社 住金リサイクル
- ・ 石田重機 有限会社
- ・ 株式会社 ヤマサエコ、ネットサービス
- ・ 森田商店
- ・ パネックス 株式会社
- ・ フジメタルリサイクル 株式会社
- ・ 栄興業 株式会社
- ・ 株式会社 協和
- ・ 株式会社 神成興業
- ・ 有限会社 サトミ金属
- ・ 有限会社 寺門建材
- ・ 有限会社 つくば資源化センター
- ・ 有限会社 武田牧場
- ・ 有限会社 朝日向建材
- ・ 株式会社 あおぞら
- ・ 株式会社 北越フォレスト

**【賛助会員】**

- ・ 社団法人茨城県経営者協会

**【退会会員】**

- ・ 株式会社 渡部工務店
- ・ 株式会社 中野工務店
- ・ 株式会社 盛竜建設
- ・ 有限会社 嶋村商事
- ・ 成田産業 株式会社
- ・ 有限会社 富総
- ・ 東海ケミー
- ・ 大同商事 株式会社
- ・ 東環境整備 株式会社
- ・ ディーエス工業 株式会社
- ・ 高橋運送 株式会社
- ・ 光陽運輸 株式会社

**4) 協会の動き** 協会で開催・参加した事業や今後の主な日程を掲載いたします。

実施した事業

12月	4日	青年部関東ブロック幹事会
	7日	茨城東京青年部交流会
	14日	関東地域事務責任者会議
	18日	理事会・行政懇談会
	21日	関東地域事務担当者会議
1月	19日	県西支部役員会
	22日	県南支部賀詞交歓会
	23日	青年部施設見学会・賀詞交歓会
	25日	関東地域事務責任者会議
	28日	賀詞交歓会
2月	7日	三役会議

今後の日程

2月	13日	関東地域建設廃棄物委員会
	15日	全産連会長会議
		青年部関東地域賀詞交歓会
	18日 ~19日	鹿行支部不法投棄パトロール
	19日	リスクアセスメント研修会
	22日	県北支部研修会
	29日	全産連事務責任者会議
下旬	県央支部役員会	

**編集後記**

新年明けましておめでとうございます。  
子の年、新しい年を迎え、皆様方におかれましては決意新たに意欲的に仕事に取り組んでいることと思います。

「ねずみの年は繁盛する」との格言がありますが、果たして今年はどうなりますか。今の株式市場は、いろいろな問題を抱え心配でたまりませんが、景気回復は、ねずみの念力に期待して、まずは、元気に・明るく・前を向いて精進することが大切のようです。

当協会の今年度の事業も残り少なく、ラストスパート。今年度は、会員からの要望もあり、会員の方への情報提供として「協会のホームページ」活用への移行を考え、ホームページの充実を図ってまいりました。まだまだ不備な点がございますが、どしどしご意見をいただければ幸いです。でも、活字での情報も大切ということで、今回の「協会だより」を作成・お送りいたしました。

今後とも会員の方々に生きた情報を提供していきたいと考えておりますので、どのようなことでも結構でのご意見お願いいたします。また、水戸へお出かけの節は、是非当協会にお立ち寄りください、美味しい「お茶」と笑顔がお待ちしております。このねずみの年を健康第一・元氣一番で頑張りましょう。